h28 標準エスキースフロー　ver0.98（子ども・子育て支援センター）

はじめにチェック※

Ⅰ.設計条件

−全体コンセプト方向性※

その詳細　Ⅰ−4.留意事項

チェック　Ⅱ−3.計画の要点

⇧

問題文

⇩

Ⅱ.要求図書

−図面仕様

最も解答に近い

アウトプットの記述

※はじめにチェック

①出入口一緒 or 別々

（単機能 or 複合施設）

②アプローチ指定

③スパン決定要因チェック

・敷地南北が 36m 以上か

・南面保育室系室数＝間口数

・40m2 系か 50m2 系か

・大空間 m2 数

上記を開始 10 分でチェック

7x7/6x7/7x6 の方向性

1.敷地及び周辺条件

①仮アプローチ決定

支援センター:利用者メイン

支援センター:管理者サブ

保育所:利用者メイン

保育所:管理者　サブ

②敷地の向き

◎　△　×

③敷地大きさ+建坪率 60%か

⇨ **A:仮アプローチ決定**

2.建築物

1)階数・構造

2)床面積→最大床面積／3

→施設ボリュームをイメージ

→建築面積指定がある場合も考えられる

⇨ **B:最大建築面積設定**

・建築面積上限

・階数

・最大床面積

・非外構部分面積

3)要求室

→要求室だけが内部条件※2

D':積上図 1

・ざっくりイメージ

3.その他の施設

・屋外遊戯場（テラス含む?）

・その他に広場系の外部空間

・駐車場条件

・駐輪場条件

※2　3)要求室

面積情報

①全室リスト化（作成）

②部門設定

③各室面積設定

④部門面積小計

⑤全室面積計算

⑥目標床面積／⑤

＝廊下率

⑦各ゾーンの面積と

割合の把握

⇨ **D:各ゾーン面積と割合の把握**

動線情報

◎動線の拾い出し

→特記に指示された動線

⇨ **C:基本イメージ**

＋特殊な動線

高さ情報

◎高さ情報の拾い出し

（吹抜けや天井高さ指定）

D':積上図 2（立体イメージ把握）

読解＝問題文→材料→

加工（ABCDD'E）→まとめ

まとめ＝ポイントの抽出

いつもと異なる点、新しい点、迷う点、

不明な点が全てポイントとなる。

↓

ここで解答（プラン）がばらける

↓

エスキース方針を立て捨てプランへ

↓

方針:A 案・・・文化系 2 階へ

方針:B 案・・・文化系 2 階へ

↑

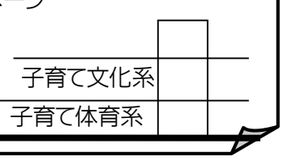
大きくは保育所が 1 階か 1−2 階か

子育ての何が 2 階で残りが 3 階か。

読解ステップ

「子ども・子育てセンター」の

基本イメージ



アーカイブ　雛形動線イメージ*1

事前からストックしておいた雛形となる**「保育所・公共施設」の基本イメージ**を使いつつ、問題文が要求している特殊な動線を拾い出す

アーカイブ　プランニング*2

事前からプランニングの評価軸を鍛えておくこと。

◎　動線計画の原則

◎　プランニングパーツストック

エスキース（プランニングプロセス）

1）方針に従い、読解内容から、基本となるゾーンイメージを設定する。

A 案

5 分程度で結論

B 案

A 案と比較検討

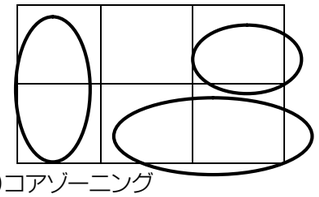
比較せずに 1/400 に入るとプランが破綻した際に戻ることができない

A 案/B 案を比較しつつ、ポイントの抽出、問題文とプランニングアーカイブ*2 を照らし合わせながら、案を決定

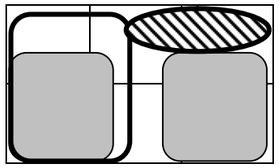
2)6 分割程度でざっくりゾーニングの確認

3)建築物の設定したグリッドの奥から、各ゾーンを詰めていく

4)中央入口付近に残った部分が共用部となる。



5)コアゾーニング

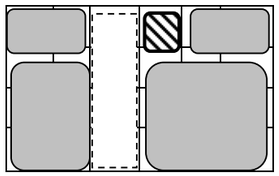


←コアはこのあたりにしか配置できなさそうと判断

→二方向避難用階段必要

プランニング（狭義のエスキース）

6)コマレベルでのプランニング（ブロックゾーニング図）



7)1/400 での検討、チェック

8)計画の要点そして 1/200 へ